

3学年だより



8月号

～気づいて・感じて・行動する～

令和5年8月25日(金)

文責 畑野 美紀子

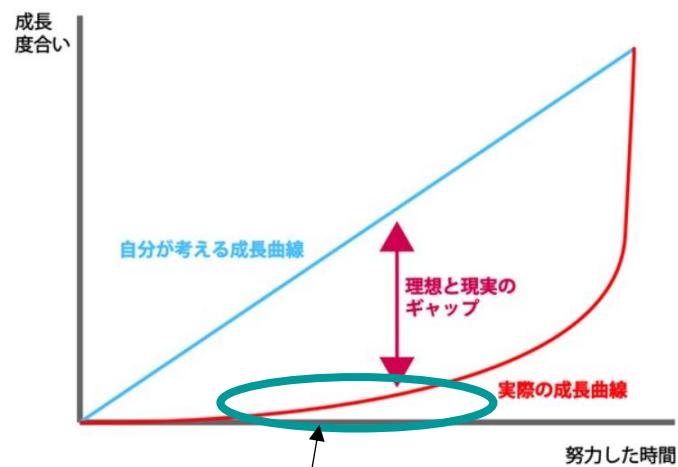
今日から新学期!

毎日暑い日が続いていますが、35日間の夏休みをみなさんはどのように過ごしましたか。生活リズムを早く取り戻し、希望する進路の実現に向けて頑張ってください。

今日は、来週 28 日(月)にある夏課題テストの過去問を解きました。夏休みの頑張りの手応えを感じることができたでしょうか。過去問を解くメリットは出題の傾向を知ることです。どんな問題が出ているのかを知ることによってそれに向けて策を練ることができます。答え合わせをし、点数配分を知ることによって、目標とする点数の達成に向けて見通しをもつことができます。テストは嫌だなどというマイナスな向き合い方ではなく、自分の今の力を知ることができるツールであるとプラスにとらえてみましょう。

点数アップのコツの一つは、限られた時間の中で解ける問題から確実に解いていくことだと思います。同じ時間で、慌てて 10 問解いて 5 問しか正解しないより、8 問解いて 8 問全問正解の方が得点は高くなります。また、見直す時間が後であるとは限らないので、解いて答えを解答用紙に書き写すまで集中力を切らさないことです。

学習の成長曲線知っていますか



この辺で心が折れないように!まだまだ伸びます!

左のグラフはドラマ「ドラゴン桜」でも登場した学習の成長曲線です。

グラフからは、直線ではなく、ゆるやかな曲線を描いた後、一気に伸びていることがわかります。勉強しても「成果が現れるには時間がかかる」ということを知っておきましょう。

努力を継続することが伸びにつながります。目の前のことに集中し最後まで粘り強く取り組むことを期待します。

次に紹介するのは、元関西大手塾でカリスマ講師と言われていた木下晴弘さんの体験談です。

模試では大差がないのに、最後の試験の結果が全く違ってくるのが毎年あります。ボーダーライン付近の子たちが「ほとんど受かるクラス」と「ほとんど落ちるクラス」に分かれます。いろいろと調査してやっと理由がわかりました。ボーダーライン上の子たちが落ちるクラスには、共通して「いじめ」があり、逆にボーダーライン上の子たちが受かるクラスは共通して「いじめがなく、みんなすごく仲がよかった」のです。ここでいう仲のよさとは、学びに向かう雰囲気をつくれる集団であるということです。例えば、試験直前に塾にゲームを持ってきて遊んでいる子がいると、クラスメートが「何やってるんだよ、こんな大事な時に。ゲームなんかやってたらだめだろう。」とちゃんと注意して、「そだよな、ごめん」とみんなで勉強することができる仲のよさです。そういう集団にいる子たちは、きっと自分の存在価値をわかっていて、多分本当の意味での自信があるような気がします。最後の最後、わずかな差で合格、不合格というギリギリのところで、「あのクラスで頑張ってきた」「みんな頑張ってきた」「できる!受かる!」という思いがあるから最後、受かるのだという気がします。

学年の集団の質が問われている気がします。学年のスローガンでもある「気づいて・感じて・行動する」が学習面にもつながることを願っています。

8・9月の行事予定

*予定が変更になる場合もあります。



8月行事

- ・8月28日(月) 夏課題テスト・専門委員会
 - ・8月29日(火) 文化ウイーク OP オーデション
 - ・8月30日(水) 中学生の未来に贈るコンサート
- ※3年→⑤⑥時間目



9月行事

- ・9月 4日(月) 放課後学習会～6日(水) ※45分授業
 - ・9月 7日(木) 期末テスト ①社②技・家③理④音⑤数
 - ・9月 8日(金) 期末テスト ①学②美③保体④国
 - ・9月14日(木) 立会演説会・投票
 - ・9月20日(水) ②英検 IBA
 - ・9月25日(月) 専門委員会
- ※10月2日(月) 学力診断テストがあります!

<保護者のみなさまへ>

先日は、お忙しい中、三者面談ありがとうございました。

また、日頃から本校の教育活動に多くのご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。今後も子どもたちが自分の進路実現のために前向きに過ごせるよう職員一同見守っていきたいと考えております。ご家庭の方でも、引き続き温かいご支援を何卒よろしくお願い致します。